

船舶事故調査報告書

平成29年6月15日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 庄 司 邦 昭（部会長）

委員 小 須 田 敏

委員 根 本 美 奈

事故種類	火災
発生日時	平成28年9月6日 03時30分ごろ
発生場所	福岡県福岡市博多港箱崎ふ頭16号岸壁 博多港東防波堤灯台から真方位038° 1.6海里付近 (概位 北緯33° 38.5′ 東経130° 24.4′)
事故の概要	貨物船 ^{ティアン フェン スリー} TIAN FENG 3は、係留中、火災が発生した。 TIAN FENG 3は、積荷の一部に焼損を生じた。
事故調査の経過	平成28年9月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	貨物船 TIAN FENG 3（トーゴ共和国籍）、2,510トン 8911035（IMO番号）、LONG GANG SHIPPING CO., LIMITED 92.06m×14.20m×7.10m、鋼 ディーゼル機関、1,103kW、1990年（建造）
乗組員等に関する情報	船長（中華人民共和国籍） 男性 57歳 締約国資格受有者承認証 船長（トーゴ共和国発給） 交付年月日 2016年3月31日 (2019年9月15日まで有効)
死傷者等	なし
損傷	積荷（スクラップ）の一部に焼損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、船長ほか10人（中華人民共和国籍8人、バングラデシュ人民共和国籍2人）が乗り組み、平成28年9月5日11時50分ごろ博多港箱崎ふ頭16号岸壁（以下「本件岸壁」という。）に右舷着けし、スクラップ約1,300tを積載した後、中華人民共和国 ^{ハイナム} 海門港に向けて出港することになっていた。 本船は、6日03時30分ごろ1番船倉から出火し、当直の航海士が火災警報を鳴らして船内に火災発生を知らせ、乗組員が全員で消火ホース2本を使用して消火作業を開始し、船長が、警察署及び消防署に火災発生を通報し、代理店に状況を連絡した。

	<p>警察署は、海上保安庁に本事故の発生を通報した。</p> <p>本船は、03時40分ごろ来援した消防隊により消火作業が行われ、05時00分ごろ鎮火した。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図、写真1 本船の船首部から見た1番船倉の状況、写真2 出火した1番船倉のスクラップの状況 参照)</p>
その他の事項	<p>本船は、2つの船倉を備え、1番船倉は長さ約27.9m、幅約11.2m、深さ約8.4m、容量約2,615.39m³であり、ハッチカバーは装備されていなかった。</p> <p>ばら積みの状態で積載していたスクラップには、家庭電化製品、石油ストーブ等の多種多様の廃棄物が混在していた。</p> <p>警察署の情報によれば、出火原因及び着火源については不明であった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし <p>本船は、博多港箱崎ふ頭に係留中、積荷のスクラップが出火したことから、火災が発生したものと考えられる。</p> <p>積載したスクラップは、金属同士の接触、バッテリー及び電池類による電氣的要因、金属と酸との反応等が火源となって、可燃物に引火して延焼した可能性があると考えられるが、出火に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、博多港箱崎ふ頭に係留中、積荷のスクラップが出火したため、火災が発生したものと考えられる。</p>

付図1 事故発生場所概略図

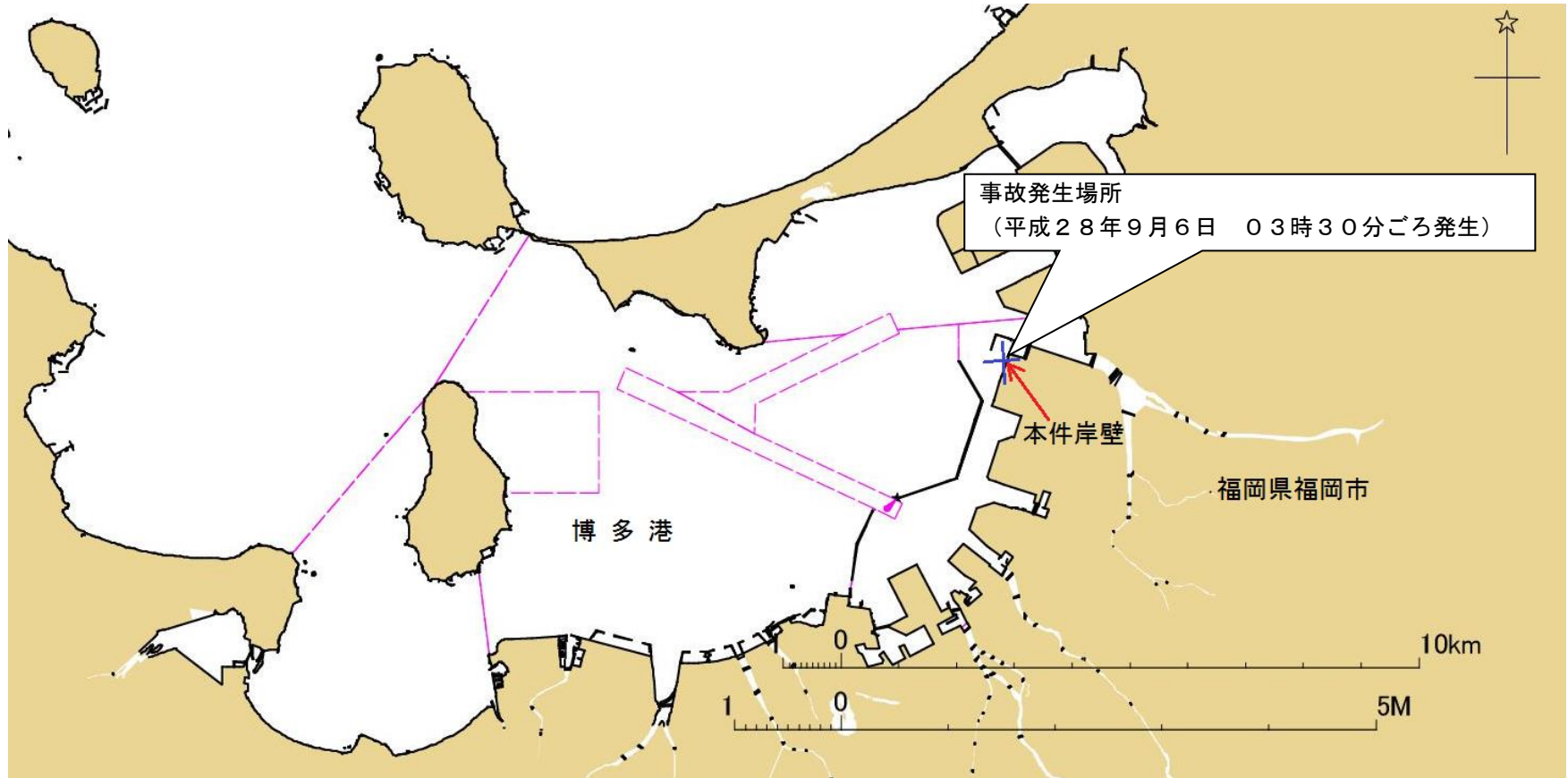


写真1 本船の船首部から見た1番船倉の状況



1番船倉

写真2 出火した1番船倉のスクラップの状況



焼損部分